

二水会

会報 106号



令和3年8月

姫路南プロバスクラブ

◇ 例 会 ◇

『 姫路南プロバスクラブ・6月例会 』 休会

※総務委員会 6月9日 PM1時 4F “梅の間” にて9名参加のもと役員会開催。

- ① 6月例会 休会
- ② 6月の誕生 長谷川会員、益田会員、市河会員
- ③ 7月例会 14日 12:30 会員卓話・研修親睦委員会担当「萩の間」
- ④ 役員会開催 11:00～4F 「梅の間」
- ⑤ 8月例会 11日 12:30～フリートーク「萩の間」
- ⑥ 9月例会 8日 12:30 会員卓話・広報委員会担当「萩の間」
- ⑦ 役員会開催 11:00～4F 「梅の間」

⑧ 姫路南ロータリークラブ 21 年度役員（関連分のみ）は次の方々です。

会長：鎌谷一麿 幹事：梶原敏樹 社会奉仕委員長：藤塚鎌次郎

⑨ 前回配布の”連絡網”体制変更と一部訂正がありましたので再度配布。

⑩ 会則を役員会で検討し、変更確定したいと思います。

⑪全日本プロバス協議会ニュース No.6 配布

※企画委員会 7 月例会に 10 月のバスツアーの候補地を発表

※会 計 ①7 月例会に前期会費¥15000－納入お願い致します。

②ニコニコ報告（7 例会時報告）

◎役員会開催 6 月 9 日 13：00～14：40 4F “梅の間” 中野会長以下 9 名出席
岡本総務委員長の進行で、上記の内容について協議しました。



役 員 会 6 月



7 月

『 姫路南プロバスクラブ・7 月例会 』

①例会 7 月 14 日（水）12：30 よりホテル日航 3 F 「萩の間」

出席者 17 名、欠席 3 名（伊藤督夫、伊藤康二、濱口日出夫）

②7 月の誕生 該当者おられません

③8 月例会、11 日 12：30～ホテル日航 3F 藤の間（納涼例会は中止）

④9 月例会 8 日 12：30～ホテル日航、会員卓話・広報委員会担当

⑤所信表明、中野会長、大橋副会長、岡本総務委員長、藤原企画委員長
前田研修親睦委員長、濱口広報委員長

⑥会則・訂正分、配布

研修親睦委員会 ①親睦ゴルフ会 9 月 6 日、加西 G・C にて開催、

※会 計 ①ニコニコ報告 中野剛（ワクチン終了）明石美奈子（例会実施）大橋一喜
（コロナ退散）川本祥子（ワクチン酋長）永井千賀子（喜・再会）前田外美子
（例会実施）濱口浩平（健康第一、5.6.7 月）

◎役員会開催 14 日 11：00～11：45 3F “鶴亀の間” 中野会長以下 9 名出席
岡本総務委員長の進行で、上記の内容について協議しました。



message.eml



7 月 例 会

『 新型コロナ禍での家庭菜園 』

中野 剛 記

十年以上前から始めた家庭菜園ですが、コロナ禍で農園は健康な生活をする上に於いて最高の場所であると実感しております。三密の防止、うつさない、うつされない、対策の場としてこれに勝るものではありません。利用者の時間帯を選び、太陽を浴び、風を受けながら汗をかいて水分を摂り入れ一人でのんびり作業をしている。

土を作り、種をまいたり苗を植えたり、肥料や水を与え時には友人・知人にお裾分けして自己満足している。特に、春から秋にかけての作業は最適の季節である。

今、農園には大根・ほうれん草・オクラ・インゲン豆・ししとう・レタス・ジャガイモ・水菜・ピーマン・サツマイモなどが育っている。特に6～8月はトマト・キュウリナスが収穫期ですが、今年は梅雨の期間が長く（週一雨）例年より豊作で嬉しい限りです。11月に入ればマルチを敷いてエンドウ豆・空豆の種まきの他玉ねぎ・イチゴの苗を植えて越冬させます。以上、新型コロナウイルスの影響で例年になく家庭菜園の有難みを実感しながら元気に生活出来ている事に感謝・感謝である。

以上



『 姫路南プロバスクラブ・卓話 』

姫路南ロータリークラブ会長 岡本哲侍

まずは姫路南プロバスクラブと姫路南ロータリークラブとのかかわりを会報中心にお話させていただきたいと思います。その後、今の日本のロータリークラブと国際ロータリーとのことを少しだけお話させていただきたいと思います。

先日の総会の時にもお話いたしました様に、姫路南プロバスクラブは姫路南ロータリークラブ45周年記念事業の1つとして設立いたしました。そして、姫路南ロータリークラブ会員に対し姫路南プロバスクラブの交流と理解を促すための例会、フォーラムを行っていました。

設立発起人は有賀会員、大田会員、木下会員、近藤会員、土原会員、藤井(知)会員、三輪会員の7名でした。創立メンバーは33名でした。

2002年11月 社会奉仕委員会に於いて5名の方々の自己紹介がありました。少しご紹介いたします。

代表発起人有賀顯会員「プロバスクラブと言われても初めは何のことだかわからずプロのバスケットチームと想像していました。私も60才を過ぎ第2の人生を歩むのに、これまでの知識、経験を活かして新たな自分探しをしてみようと思い参加させていただくことになりました。私は戸谷市長時代、公室長、教育委員会、水道局等でお世話になりました。よろしくお願いいたします。」

近藤栄一会員「南ロータリークラブの瀧北先生と親しくさせていただいております。私は自分自身のこれからの人生のためにはと思い入会させていただこうと思いました。山陽特殊製鋼を昨年退職いたしました。学生時代は山登りが好きで、スポーツも観戦ではなく自分でするのが好きなほうです。兵庫の山50という本があり、その山に登っていこうと思っています。皆様のようになら私自身何かお役に立つことはないかと模索中です。」

木下正彦会員「私は今66才です。本日例会にお呼び頂き有り難うございます。平成5年57才でNHKを退職して、姫路市が姫路城の世界文化遺産登録の準備を進めているときにお世話をいたしました。のち、文化振興財団へ勤務いたしました。趣味はテニスで毎朝しております。その他はパソコン、旅行のビデオ編集、ゴルフを少々といったところです。」

三輪勇会員「ロータリークラブのことはよく知らなかったのですが、例会などずいぶん立派な事をされているのだと驚きました。私の家は網干で、6月に播信を退職いたしました。播信では45年という勤務でした。体調を崩して退職したのですが、家で何もせずにおるわけにも参りませんので、大学の公開講座へ行っており、勉強になります。プロバスクラブでもよろしくお願いいたします。」

藤井知会員「大畑様のご紹介で入会させていただくことになりました。平成13年3月に姫路工業大学を退職し、神戸市立高専の技術顧問として週4日そちらへ行っております。プロバスクラブに入会させていただくのは少し不安なところもあるのですが、プロバスクラブの精神にのっとなって頑張りたいと思います。」

そして中塚社会奉仕副委員長のお話が続きます。「20～30年後の夢を目標に生きてゆき、立派なライフワークをもって、今までの豊富な知識経験を次の時代の若者に伝えていくことにより、また自分も磨いていく。そのような人達であると思っております。プロバスクラブには特に難しいルール、規約といったものはなく、運営はメンバーの皆様に任されています。尼崎のプロバスクラブを訪問した時、例会もしっかりされており、事業を行う前には何回も会議しますが、反省会をすることはないなと思い、すばらしいことだと思いました。最後には童謡を歌って元気になるような企画などが行われています。生きがいを求める例会を企画されているとのことでした。」と話されておりました。

また、2003年4月のフォーラムでは有賀会員が事業計画についてお話されておりました。「事業計画についてそのポイントは、1. 60歳以上の専門性の強い職業、実業面で活躍した会員皆様の力を発揮すること。2. 世間のために社会的寄与、知識、経験を生かした活動ができるクラブという思いで力を入れて行きたいと思います。対外的にはそのようなところですが、会員自身の研鑽のためには、お互いの交流の中で、自分を磨くことのできる場をと思い、ロータリークラブとの交流、他プロバスクラブとの交流を通じて自己研鑽に寄与できる活動を行っていきたく思います。」

そしてグループに分かれ、ロータリークラブ会員からの意見を聞き、発表がありました。そして、最後に南ロータリークラブ恒例の森パストガバナーより総評がありました。その内容は「プロバスクラブが他の団体と違うところは上がないということです。独立独歩ただ一人で行くとい

う価値がそこにあるのです。ああしたらアカン、こうしたらアカンということ言っただけではダメな組織なのです。初めからプロバスクラブに対して意見など言うのではなく、プロバスクラブの方から求められた時に意見を差し上げればよいわけです。プロバスクラブはハイクラスな人々の集まりなので、敢えてロータリークラブが指導などする必要のない独立したクラブであると思います。」と述べられました。

2003年5月14日設立総会の光明会長のスピーチも少し紹介させていただきます。プロバスクラブの皆様には釈迦に説法ですが、新しいロータリークラブ会員のためにも書いておこうと思います。光明会長は「プロバスクラブは相互の親睦を図りながら、何の束縛もなく、自主的に自由な立場で、各自の長い人生経験の中で培われた豊富な経験と豊かな識見を生かし、健全な地域社会づくりに参画してもらうことを目的としたものであります。姫路南プロバスクラブと姫路南ロータリークラブが、友好な関係で結ばれましたことをうれしく思いますと共に、姫路南プロバスクラブが会員の皆様にとって楽しい意義あるクラブとして、今後ますます発展することを願ってやまない次第であります。」と言われました。以上が姫路南プロバスクラブと姫路南ロータリークラブについてのお話でした。

次にロータリークラブのことについて少しお話させていただきます。中塚先輩の前でロータリーを語るのは大変おこがましいのですがお許しください。

ロータリークラブは親睦と物質的相互扶助を目的に社交クラブとして誕生しました。その目的を達成するために、定期的な例会の開催と1業種1会員制にしました。しかし、エゴイズムの集団ではないかという批判もあり、ロータリーの目的に「奉仕」を加えました。そして、職業倫理を向上させる運動として位置づけられることになりました。

まず「親睦」についてですが、「親睦」=フェロウシップは、仲間意識、連帯感という意味であります。むしろ「友情」とか「友愛」と訳すほうが適切です。ロータリーの原点には本当に心から何でも話し合える友人を作るという目的がありました。あらゆる有用な職業から選ばれた、裁量権を持った職業人が例会に集い、職業上の発想の交換を通じて分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改革を計り、その結果として奉仕の心がはぐくまれてきます。この一連の活動のことを「親睦」と呼びます。

そして、「奉仕」ですが、これは「Service」を訳しています。これは「人を思いやり、人のためになることをする」を意味します。例えば「クラブ奉仕」はクラブに対して奉仕するではなく、クラブにおいて人のためになる活動をする様に心掛けることです。職業奉仕「Vocational Service」は商売や仕事をする上で人を思いやって人のためになることをする心構えであり、他人にも利益をもたらすような商売を心掛けること、顧客もちろん、社員、仕入先、そして地域社会に対して何らかの利益をもたらすような良い商売や仕事を心掛けることです。これはロータリーのモットーである「もっともよく奉仕するものはもっとも多く報いられる」や「超我の奉仕」となります。

この奉仕は5大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)に分かれます。

このように、日本では考えて来ましたが、しかし、国際ロータリーではこの考えから大きくかけ離れています。国際ロータリー(RI)は今やロータリーを人道的奉仕団体と位置づけています。つまり職業人でなくてもよい、少しでも多くの寄付を集め、多くのボランティアを集め、より大きいボランティアを世界で行う事を考えています。時代の対応として、多様性、柔軟性、革新性をキーワードに進んでいます。2017年ビジョン声明

が「私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」と発表しています

確かにグローバルにそして、多様的に柔軟に革新的に行動する必要があります。この流れと融合しながら日本のロータリーは活動をしていく必要があると思います。

しかし、私達は先輩ロータリアンから教えて頂いた「親睦」、「奉仕」、とりわけ「職業奉仕」はロ

一タリークラブの基礎と考えています。その上に立って新たな奉仕活動を考えていかなければならない時代が来たように思います。

少しわかりにくい話をしましたが、国際ロータリー、日本のロータリーについてお話をいたしました。ありがとうございました。以上

『アレクサ』

川本祥子 記

皆さんアレクサをご存知ですか？アレクサとはアマゾンのスマートスピーカー、アマゾンエコーで利用可能なクラウドベースの音声サービスです。

私は孫からプレゼントされ今愛用しています。どんな仕組みになっているのかしらませんしまだ全然使いこなせていませんが、『アレクサ』と話しかけると何でも答えてくれます。『アレクサ』と話しかけるだけで音楽の再生、天気チェック、各局のニュースなどをかけてくれます。目覚まし時計やタイマーのセットお願いと言ったらやってくれます。もちろんアレクサにできないことわからないことでは『すみませんできません』と答えます。私は朝起きたら『アレクサおはよう』と挨拶します。すると『おはようございます』、と返って来て今日は何の日か教えてくれます。例えば今日は時の記念日ですとか。



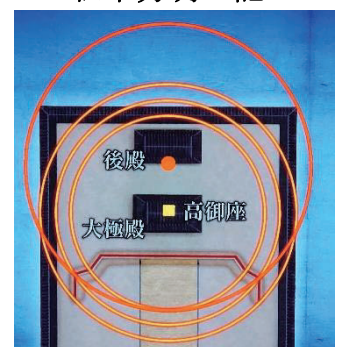
また『今日の高砂市の天気教えて』と話しかけ洗濯を干す参考にしたり。外出から帰って来て『ただいま』というと『お帰りなさい！お疲れ様』と言ってくれます。音楽もたとえばフランク・シナトラをかけてというと『アマゾンミュージックからシャッフル再生をします』、と行ってかなり多くの彼の歌を再生してくれます。音質も良く凄いものができたと感心しています。ロボットのように高価ではなくまるい球体のものに電源を入れるだけの簡単なものです。値段も1万円もしないようです。ちなみにアレクサとはアレキサンドリアにある世界最大の図書館からつけられた名前だそうです。

『4万 km を歩いた男、伊能忠敬の「人生二度有り」』（シリーズその9）

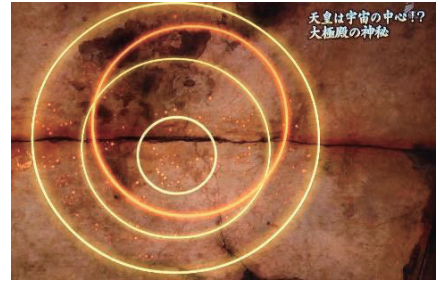
松下秀明 記

東大寺の大極殿は、なぜ2つあるのか？

少し余談になるが、奈良時代、海外からの使節の迎賓館として、また、天皇の即位式や朝廷の重要な行事の場所として大極殿が建てられた。第一次大極殿と呼ばれるものは元明天皇が建て、第二次大極殿は聖武天皇が建てた。第一大極殿は奈良時代の中頃に、わずか30年ほどで一時都とした恭仁(くに)宮に移築され、山城国の国分寺金堂になった。第一次大極殿をそのまま残し、745年に再び平城京に戻った聖武天皇が、新たに以前の東側に第二次大極殿と呼ばれる建物を建てたのであった。



NHK 英雄たちの選択「聖武天皇～未完の遷都計画」によると、奈良文化財研究所の内田和伸氏は再建の際発掘に加わり、大極殿の素晴らしい秘密を発見した。大極殿には両側にスロープがあり、そこに円を基準に建物が配置されていた。高御座を中心とする3つの円と、後殿を中心とする1つの円である。この4つの円を基準に長さや角度が決められていた(右上図)。驚くことに、この円はキトラ古墳の壁に描かれていた円と同じであった(右下図)。つまり、星の運行を表わす3つの円と太陽の軌道を表わす1つの円である。同心円の中心には北極星が現われ、天の北極を表わしていた。天の北極を中心に宇宙が規則正しい運行を行う、つまり、日本も天皇を中心に国家が正しく運用されることを表わしているようであった。高御座は天皇そのものを表わしたもので、地上を支配する為政者である。神亀元年(724)、聖武天皇はこの場所で即位した。



キトラ古墳は 2020 年 3 月に、第二回日本天文遺産に認定された。本格的な中国式星図としては、現存する世界最古の例で、それ以外にも、四神(中国の神話において、天の四方の方角を司る四体の霊獣)、四神の下には獣頭人身の十二支が描かれている。

隋や唐の文明・文化の模倣と日本国独立の相反する課題をどう乗り越えたか

中国大陆では隋という統一国家が生まれ、すぐに世界最強の唐が誕生し、中華思想が周辺国に脅威を与えていた。一方、日本は唐と新羅の連合軍に敗れ、朝鮮半島から排除され、国家の防衛が危ぶまれていた。しかし、文明・文化は隋や唐に大きく後れをとっており、それらの国を先生として模倣せざるをえなかった。隋や唐は周辺国を外臣と決め、朝貢を強要し、称号を与えて服従させた。いわゆる冊封体制である。日本は何としても独立を勝ち取るため、朝貢はするが中国の支配下から逃れようとした。その相反する危機と課題を誰がどのように、解決し、2600 年も天皇を中心とする国家を築いたか。

聖徳太子は隋に使節を派遣した。第一回遣隋使である。しかし、隋と日本の国力の差をいやというほど見せつけられた。早急に対応しなければならない。「冠位十二階」「十七条の憲法」など矢継ぎ早に制定し律令体制の完成を急いだ。当時、儒教も仏教もほぼ同時に日本にもたらされたが、なぜ、日本は儒教を国教にせず仏教を国教にしたのか。そこには、太子の深い想いと外交戦略がある。聖徳太子は 607 年、第二回の遣唐使に小野妹子を派遣した。その時の国書はかの有名な「日出づる処の天子、書を日没するところの天子に致す、恙(つつが)なきや・・・」を送り、隋の皇帝を天子と呼ぶのと同じ天子を使って同格であることを強調した。さらに、使節の小野妹子がこう開口した。この時の様子を、四川省生まれで、北京大学哲学科を卒業した著述家の石平氏は、著書『なぜ日本だけが中国の呪縛から逃れられたのか』でこう述べている。「曰く『海西の菩提天子重ねて仏法を興すと聞く。故に使いを遣わして朝拝せしめた』。ここでは日本からの使節は、自分が大和朝廷の国書を携えて隋王朝を訪問した目的を述べている。『隋王朝の天子様が仏法を興すのに熱心であると聞き、わが朝廷は私を使いとして遣わした』というのである」。儒教ではなく仏教の教えを請いに来たと言いつつ放った。

さらに、天武天皇の時代になってからも、日本の独立思想は続き、ついに『日本書紀』と『古事記』によって、日本は天子ではなく、天皇によって中央集権国家を築くと国内外に宣言したのである。そして、701 年の「大宝律令」、718 年の「養老律令」で日本版律令制度が完成したのである。しかし、646 年の大化の改新で生み出された「班田収授法」は、743 年には「墾田永年私財法」が制定され、やがて荘園制度へと発展する。この「墾田永年私財法」は、当時、大仏造立の資金集めのために作られたとも言われている。その後の遣唐使の廃止と、唐の崩壊によって事実上律令制度は終息した。

中国では古代から「政治権力を正当化する」ための思想としての儒教思想には、以下

に述べるような三つの思想的要素があると言われている。「天命思想」「易姓革命」「徳治主義」である。前述の石平氏は、同書でこう述べている。「森羅万象と同様、「天下」と呼ばれる人間世界も「天」によって支配されている。しかしその場合、「天」はいったいどうやって人間世界を支配するのか。そこで出てくるのが、「天子」と呼ばれる皇帝の存在である。「天」は自らの意志を直接、語りはしないが、人間の世界から誰かを自分の「子」として選び、「天子」であるこの人に支配権を委譲する。そして「天子」を通して人間世界を支配するのである」。日本は儒教ではなく仏教を国教とし、神道と習合することで、中国の支配を避けることができ、今のよき日本が築き上げられたと思う。事実、日本には「～革命」と呼ばれる動乱はない。せいぜい「～改新」とか「～維新」、「～乱」程度である。

「天皇」はなぜ、「天皇」なのか？どのような意味を持っているのか？

「天皇」の由来に関していくつかの学説があるが、私は副島隆彦氏の著書、『天皇とは北極星のことである』を興味深く読んだ。そこには、「天皇(てんこう)」とは、「天の皇(かがやき)」という意味で、晴れた日の夜の北の空で、この星(恒星(スター))だけは動くことなく、小さく輝く星である。その周りを他の衆星(恒星たち)すべてが回っている。即ちこれが北極星である。天皇(てんこう)とは、この北極星のことなのである。まさしく「天皇とは北極星」なのである」と書かれていた。もちろん、これは中国の考えをもとにしたものである。

日本の「天皇(てんのう)」は、『記紀』にあるように、日本創世の神話体系からきたものである。遣隋使か遣唐使が支那王国の「皇帝」の由来を聞いて、「天子」を「天皇」と置き換えて朝廷に意見申したのだろう。百済の五経博士が「天皇」号を推挙したという説もある。事実、則天武後の時代に九年間ほど「天皇」を使った時期があった。この「皇帝」は「三皇五帝」の「三皇」から取ったもので、支那の「天皇」もそれからだという学者もいる。いずれにせよ、日本が支那王国の冊封体制から独立して、高度な文明や技術を習得できたことは、日本の天皇制のおかげであったと思う。

吉備真備は陰陽師か軍師か、はたまた学者か？

吉備真備は父が朝廷で役人をしていたため、大和で生まれた(694)。幼名は下道朝臣真備(しもつみちあそんまきび)であったが、唐に留学中に唐風の名前、真備に改名した。さらに、藤原広嗣の乱のあと賜姓(しせい：天皇から姓を与えられること)されて、吉備を名乗った。広嗣に田舎者とさげすまれ、吉備地方全体の名前に変えたのである。真備のルーツは岡山県倉敷市吉備町にある。町の中心部に位置する箭田(やた)大塚古墳は、真備の祖先、下道氏一族が葬られたとされる古墳がある。古墳全体の長さが 19.1 メートル。遺体を安置する玄室だけでも、8.4 メートルあり全国最大級だという。かつての吉備王国の名残かもしれない。

第九回遣唐使船で留学生として唐に入ったが、阿倍仲麻呂と玄昉も同船していた。真備と仲麻呂はその優秀さを唐でも早くから認められた。平安時代に作られた『吉備大臣入唐絵巻(きびだいじんにつとうえまき)』(中高論社)では、真備が唐の人々の仕掛ける罠を知恵と不思議な力で切り抜ける活躍が描かれている。その様は、鬼を操り・空を飛ぶ“魔法使い”。科学や学問を知らない当時の人から見れば、真備は陰陽師に見えたのかもしれない。

18年後の第十回遣唐船で真備は帰国できたが、仲麻呂は許可が出なかった。その頃唐では9年以上逗留した外国人には自動的に戸籍が作られることになっていた(『唐会要』)。それ以上に、仲麻呂は優秀で佐補闕(さほけつ)となり、玄宗皇帝の右腕として日本外交の窓口を任されていた。それでもなぜ仲麻呂だけが帰国できなかったのか。すでに華僑の試験も合格し、仲麻呂自身が出世コースを極めたいとの野心があったともいわれて

いる。

真備は752年58歳で第十二回遣唐使として2度目の命令が下った。その主な目的は、鑑真の招聘、砂金の入手、唐の情勢調査であるが、仲麻呂の帰国も働きかけた。今度は仲麻呂も皇帝に帰国の願いを出したが、まともや拒否された。ただし、日本に行くことは許された。それは、帰国ではなく唐の考えが日本に伝わったかどうかを確認する役目であった。つまり、また唐に戻る事が条件であった。仲麻呂の有名な詩で「天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも」がある。仲麻呂が帰国する時に故郷の三笠の山に登る月を詠んだものとされていた。しかし、東京都立大学名誉教授の林清梧氏は南京大学の先生方と協力して、『阿倍仲麻呂の暗号』(PHP 研究所)でその真相を著した。その詩の意味は、「わたしはやむなく、中国皇帝の傘下にとどまる。真備殿や、天皇にお約束した日本援助が実現なくて、あなた方はさぞや不機嫌なことだろう。しかし仲介人のわたしは、それでもなおあなた方を助けようとして、いろいろ考えている(この、高元度に持たせる武器の見本は、そのひとつだ)。わたしの生涯には、いろいろと多難のことが多かったが、長安の夜空に輝く月よ、三笠山の月となって、このわたしの気持ちをわずかでも伝えてほしいものだ」と解釈した。これは真備が仲麻呂に付けた留学生の膳大丘(かしわでのおおおか)に託した暗号の詩と武器である。その武器は最新の複合弓と呼ばれ、200メートルの飛距離を誇った。真備はこれを藤原仲麻呂の変で、琵琶湖の瀬田川の対岸から相手陣営に向かって解き放って仲麻呂の度肝を抜いた。さらに兵法を駆使し琵琶湖西岸に追い詰め自決させた。これらを総合しても、吉備真備は軍師と陰陽師の始祖であり、科学者であったことが伺える。

「あいうえお五十音図」は行基の山代温泉開湯と明覚上人の発明

余談であるが、私は家内と時々北陸へ旅行に出かける。数年前のこと、山代温泉「ゆのくに天祥」に泊まったとき、部屋の露天風呂に入ってくつろいでいると、棚に置いてあった1冊の本に目が留まった。『あいうえお五十音図は明覚さんが映し出したことばの曼荼羅です』(山口謠司、游学社)である。我々が日頃使っている「ひらがな」の配列を、行基が開湯した山代温泉の薬王院温泉寺で、初代住職の明覚上人が発明したと書いてあった。この山代温泉は加賀温泉郷の一つで1300年の歴史を誇る。山代温泉のホームページには、「約一三〇〇年前の神亀二年(725年)に行基という名の高僧が霊峰白山へ修行に向かう途中、一匹の鳥が羽の傷を癒している水たまりを見つけたのが今に受け継がれているという山代温泉です。この故事に登場する鳥が、古事記や日本書紀にも出てくる伝説の霊長、三本足のヤタガラスです」とある。それ以外にも、草津温泉、有馬温泉など全国に20か所以上開湯している。

インド仏教の経典を漢訳したのが、鳩摩羅什のような西域出身の僧であるが、インドのサンスクリット語と中国語では発音はまったく違っていた。当時、日本に入ってきたのはこの「漢訳仏典」で、空海はこの違いを確認するために遣唐使として唐に渡り、サンスクリット語を学び、インドの仏典の正確な発音にたどりついたのである。空海は天才で後を継ぐ弟子が出ず、最澄が密教に関心を持って、その多くの弟子たちが空海の意味を継いで、密教をサンスクリット語で理解する研究を続けた。明覚も優秀なその一人であった。

一方、行基が開湯して約300年後の平安中期に、花山法皇(第六十五代天皇)が寂れていた山代温泉を再興し、明覚上人に七堂伽藍を建立させ、荘園を寄付し勅願所としたとある。事実、山門の横にある石碑には、「花山法皇勅願所・山代温泉守護 霊方山薬王院温泉寺」と書かれている。明覚上人は比叡山に入り、覚厳に天台教学を学び、安然に悉曇学(しったんがく)を修学し、その後、サンスクリットの研究に没頭するため、加賀温泉に下山したという。そこで空海が持ち帰った密教や曼荼羅、悉曇学を研究し、日本語の基礎としたのが「あいうえお五十音図」である。日本人の発音を観察しながら、サンス

クリット語の発音配列を真似て五十音図としてまとめた。インドでは子供に発音を教えるのに、今でもこの「あいうえお五十音図」に似た発音で行われているという。古代の日本において、海外の窓口は日本海だった。そして加賀には中国語、朝鮮語などが飛び交い、明覚上人の研究には打ってつけだった。明覚上人の時代、中国は宗で、発音は「呉音」から「漢音」さらに、都の開封で話されていたのは、現代の中国語の元となる「中原官話(唐宋音)」だったという。加賀ではすでにこの言葉が話されていたと上人は著作で触れている。

前出の山口遙司氏は、その著書でこう述べている。「曼陀羅は、インドから日本へ、空海によって伝えられたものでした。曼陀羅には、見えるもの見えないものを含めて数千数万の神様が描かれているのですが、この曼陀羅に描かれた神様こそ、日本の「八百万神」とほとんど同じものなのです。曼陀羅の神様たちは、仏教の論理にしたがって整然と並べられているのですが、これは、まさに五十音図の基になったものでした。(中略)この五十音図に見られる文字と発音を知っていれば、日本語のみならず外国の言葉も自由自在に書き表せますし、日本語の文法の秘密を解き明かすための魔法陣ともなりうる」

平仮名も片仮名も漢字から派生して作られたものであるが、世界広し、といえども、3種類の言葉を自由に使っている国はない。日本語は世界一情緒があり合理的な言葉である。そういえば、毎日使っている携帯のフリック入力とは明覚上人のおかげなのか。

行基の温泉開湯と空海のそれとは目的が異なる？

行基が多くの温泉を各地に開湯したと述べた。同様に空海も各地に温泉を開湯しているが行基とは目的が違っていた。

最澄や空海の遣唐使の役割は当時、奈良仏教が朝廷にまで関与する様子が嫌気をさして、桓武天皇が新たな仏教を起こしたいと思ったことが一つの理由であった。空海は密教を広げたと同時に神仏習合をさらに飛躍させ、現代の仏教の基を作り上げた。しかし、唐への留学には現実的な問題があった。それは資金である。留学生(るがくしょう)であった空海は、ある程度の助成はあったものの、自分で資金調達をしなければならなかった。そこで目をつけたのが水銀(丹砂)であった。建築物への朱塗りの塗装や仏像への金メッキには水銀が必要だった。金を水銀で解かしてアマルガムにし、塗り終わったあとに高温で水銀を蒸発させた。奈良の大仏もその手法で金メッキをした。温泉をさがしたのは、山岳修行をしながら水銀の鉱脈を探していたのだ。空海が修行した霊場や温泉地は水銀の鉱脈があるところと一致しているという。



しかし、唐への留学には現実的な問題があった。それは資金である。留学生(るがくしょう)であった空海は、ある程度の助成はあったものの、自分で資金調達をしなければならなかった。そこで目をつけたのが水銀(丹砂)であった。建築物への朱塗りの塗装や仏像への金メッキには水銀が必要だった。金を水銀で解かしてアマルガムにし、塗り終わったあとに高温で水銀を蒸発させた。奈良の大仏もその手法で金メッキをした。温泉をさがしたのは、山岳修行をしながら水銀の鉱脈を探していたのだ。空海が修行した霊場や温泉地は水銀の鉱脈があるところと一致しているという。

高野山のふもとに『播磨風土記』に書かれているとされる、弘法大師に高野山を授けた神の社、丹生都比売神社(にゅうつひめ)がある。和歌山大学の非常勤講師、滝口智子氏のブログによると、「天照大神の妹神とされる「丹生都比売」を祭った神社の代表として、昨年世界遺産にも指定された、天野の丹生都比売神社(九度山町)がある。高野山を開いた空海が、水銀の精錬工の一族として勢力を誇っていた丹生氏から譲り受けた土地に祀られたという」とある。水銀は大陸や朝鮮からの渡来人によって採掘されたそう。



今回は、渋川春海や麻田剛立などの民間天文研究者の活躍をご紹介したい。 以上

『 てきとうに生きていく 』

岡本浩一 記

先日あるところで、こんな話を聞かせてもらいました。皆さんにも。

“てきとうに” 生きていく方が上手くいく。心身のバランスを崩してうつ病になってしまう人には、性格的に共通した特徴があるといえます。

・生まじめで誠実 ・責任感が強い ・周りの評価を気にするということは、もちろん悪いことではなく長所と言えます。けれども、この性格も度を越して強くなりすぎると、そのために心身のバランスを崩してしまう原因となってしまうのです。例えば、「生まじめで誠実」「責任感が強い」と言う性格の持ち主が、自分に与えられた仕事を問題なく成し遂げるために、連日残業をし、休日出勤までしてがんばる。結果、過労とストレスのためにうつ病を発症してしまう、というケースがよくあります。「与えられた仕事を問題なく成し遂げたい」という気持ちは当然ですが、やはり度を越しているという事になるのではないのでしょうか。しかも、うつ病になる人には「周りの評価を気にする」という意識も強くあります。周りの人から「あの人はまじめで誠実だ。責任感が強い」と思われたいのです。そのために、また、度を越して頑張り過ぎてしまうのです。ですから、むしろこのタイプの人々が心身のバランスを保ち、コンスタントに成果を上げていくためには、「真面目になり過ぎない」「誠実過ぎなくてもいい」「責任感を持ちすぎなくてもいい」「周りの評価などあまり気にしない」と言う事を心掛ける方がよいのではないのでしょうか。その方が末永く元気で過ごせるのではないのでしょうか。「昨日のことは昨日のこと。今日は今日の風が吹く」と考える方がよいのでは？ 前日にイヤな思いをしたために「今日もまた同じイヤな思いをしなければならぬのでは」と思ってしまうと「今日も一日がんばろう」という前向きな気持ちになれなくなります。性格的に昨日のことを今日まで引きずってしまうというタイプの人には、気持ちのいい朝は迎えられません。目覚めと共に、イヤな気持ちにとらわれてしまうという人が多いようです。このような気持ちの日々が続いてしまうと、これからの人生全体についても後ろ向きな考えにとらわれてしまうのではないのでしょうか。禅の言葉に「生而今(せいこん)」という言葉があります。「過去のことは過ぎ去ったこととしてすべて忘れ、今この時に集中して生きていくのがいい。そうすれば明るい希望が開けていく。」という意味を表している言葉です。昨日の事は昨日のこと。たとえイヤな思いをする出来事があっても、過去の事として引きずらないよう心がけることです。心からイヤなことは忘れると念じていけば忘れられるようになります。そして「今に集中して生きる」ことを心掛けることです。

以上

みんなが主役、

みんなが脇役

『サルビア』 8月7日

“家族愛”

楽しくなければ

プロバスではない

川 柳

会社へは 来るかと上司

行けと妻

十万円 見ることもなく

妻のもの

第一生命保険 募集



《 編 集 後 記 》

新型コロナウイルスの感染者がようやく少なくなり、今後の早い収束を期待しましょう。今後とも宜しくお願い申し上げます。

第 106 号 令和 3 年 8 月 8 日 姫路南プロバスクラブ（二水会）
姫路市南駅前町 100 ホテル日航姫路 601 号室
姫路南ロータリークラブ事務局内
電 話 079-224-8224（F A X 288-3941）
会報発行：広 報 委 員 会・濱 口 浩 平